

説明のしかたを工夫して、分かりやすく伝える文章を書こう

中心学習材 「アップとルーズで伝える」『クラブ活動リーフレット』を作ろう (光村図書4年下)

<付けたい力>

- ◎目的に応じて、文章全体の構成と段落の関係、写真と文章の対応関係を考え、文章を読む力(読イ)
- ◎書こうとすることの中心を明確にし、写真との対応を考えながら文章を構成する力(書イ)

<単元を貫く言語活動>
説明の仕方の工夫を考え
「委員会活動リーフレット」を作る。

<主体的な思考・判断・表現を促す手立て>

- ・第1次では、リーフレット作りの相手意識・目的意識を明確にもたせ、読み手が委員会活動について知りたいと思うことを観点として取材し、得た情報からさらに知りたいことを見つけて取材を重ねることを通して、リーフレットを作り友達に伝えたいという意欲の醸成を図る。
- ・第2次では、中心学習材の段落構成や説明の仕方の工夫を読み取り、2つの見方をすると伝えたいことを効果的に伝えられることに気付かせ、対比的な段落構成や写真と文章を対応させた説明の仕方の工夫を、第3次のリーフレット作りに生かすことができるようにする。

1 子どもと単元について

(1) 子どもの実態

子どもたちは、「書くこと」の学習として、3年生では、調べたことを文章に書きまとめ、友達や家の人に伝える学習を行った。4年生では、段落相互の関係をおさえながら主張が伝わりやすい文章の書き方を考えたり、興味をもった部分について自分の考えを書いたりするという学習や、新聞の特徴と作り方を学び、伝えたい情報の中心を考えながら、目的のために必要な事柄を調べて書く学習を行っている。これらの学習を通して、子どもたちは、伝える目的や伝えたい相手を意識し、自分の思いをもちながら「始め・中・おわり」の簡単な構成を意識した文章を書くことができるようになってきている。

(2) 学習材について

本単元における学習材「アップとルーズで伝える」は、私たちが最もよく目にするメディアであるテレビの映像技法を述べた文章である。写真と文章を対応させて読みながら、対比的な段落関係と文章全体の構成を捉え、伝えたいことを写真と文章で詳しく説明したり、対比させながら説明したりするという、説明の仕方の工夫を考慮することができる学習材となっている。ここで学んだ説明の仕方の工夫は、クラブ活動などを紹介するリーフレットを作るという学習につなげることができる。また、「アップとルーズで伝える」で学習した「情報の切り取り方によって伝えられることと伝えられないことがある」「情報の裏には送り手の意図がある」ということを、情報の送り手の立場で理解できるようにもなっている。

以上のことから、二つの学習材を関連させて学習を進めていくことにより、情報の発信の方法と対比による書き表し方について学ぶとともに、学んだ方法を使い、自分が調べた情報を写真と対応させて文章に書き表すという、二つの領域における付けたい力を身に付けることができるものとなっている。

(3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、「説明のしかたの工夫を考え、『委員会活動リーフレット』を作る」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。

【読むことの観点】

<読みの観点>

- 段落の役割
- 情報発信の方法(「アップ」「ルーズ」)
- 対比させながら説明する文章の書き方
- 写真と対応する文章の書き方

【書くことの観点】

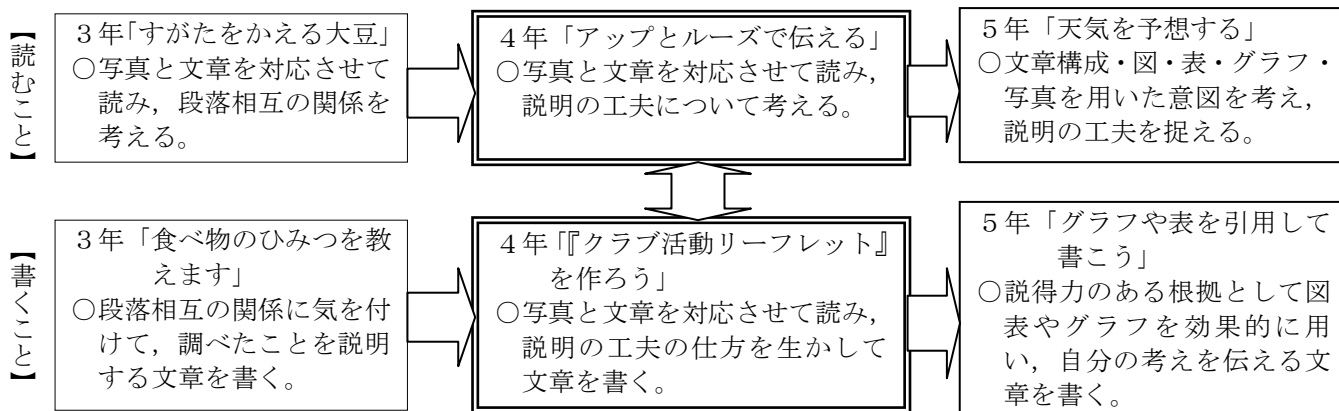
<構成>

- ①委員会活動の仕事内容や目的、目標
- ② } 特に伝えたい活動内容(対比)
- ③ }
- ④委員の願いや思い

<記述>

- 写真と文章の対応 ○対比
- 補足 ○指示語 ○接続語
- 具体例 ○書き出し(主語)
- 事実・伝聞の文末表現

「読むこと」における「写真と文章を対応させて説明の工夫を読む」、「書くこと」における「写真と文章を対応させながら、段落相互の関係に注意して文章を書く」という言語活動の系統は以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つのことを大切にす。

一つ目は、相手意識や目的意識をもたせ、リーフレットを作る意欲の醸成を図ることである。児童は日常生活の場面で高学年の委員会活動を目にしており、大体の活動については知っているが、具体的な仕事内容はまだ分からないことが多い。また、仕事の大変さややりがい、委員の思いに目を向けている児童は少ない。そこで、委員会の仕事内容や委員の思いを詳しく取材し、友達と伝え合っ来年度の委員会所属決定に生かせるようにするというをリーフレット作りの目的としたい。そのため、リーフレットの読み手は、委員会活動の何について知りたいと思うかを具体的に考えて取材の観点とし、読み手の立場に立って取材ができるようにする。第1次から第3次までを通して取材活動の時間を多く取り、得た情報から更に知りたいことを見付け取材を重ねることを通して、リーフレットを作って友達に伝えたいという意欲の醸成を図りたい。

二つ目は、書きたいことを明確にし、中心学習材で学んだ段落構成や説明の仕方の工夫を、リーフレットの構成に生かすことである。中心学習材を、写真と文章を対応させながら読んだり、段落の役割を考えたりすることで、対比的な段落構成の分かりやすさなど説明の仕方の工夫を読み取り、2つの見方をすると伝えたいことを効果的に伝えられることに気付かせ、リーフレットの構成を考える際の手掛かりとさせたい。また、話し合いを通して、読み手が必要としている情報は何か考え、常に読み手を意識して書きたいことを考えたり、写真を選んだりできるようにする。

三つ目は、モデル文や語彙カードを、文章を書く際に活用させることである。取材内容を書きまとめた付箋を基に文章を書くとき、文と文のつながりを意識しない文章になってしまいがちである。第2次では、接続語や指示語の役割にも気付かせ、文章全体に与える効果を考えさせたい。モデル文や語彙カードで書き出しの言葉や文末表現、補足説明の例を提示し、実際に付箋から文章に書き表す指導を丁寧に行いたい。

これらを通して、「書くことで伝える」ことの楽しさや有用性を実感しながら、明確に伝えるための取材や構成の仕方、文章を書く力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

- 情報の伝え方や伝えたい内容に興味をもって読んだり、発信したりしようとする。【関心・意欲・態度】
- 写真と文章を対応させながら、文章全体の構成や段落の役割、表現の仕方を考えて文章を読み取ることができる。【読むことイ】
- 書こうとするものの中心を明確にし、写真との対応を考えながら、文章を構成することができる。【書くことイ】

○指示語や接続語が文と文の意味のつながりに果たす役割を理解し、使うことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1) イ(ク)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○写真と対応する文章を、興味をもって読んだり、説明の仕方の工夫を生かして文章を書いたりしようとしている。	◎写真と文章を対応させて、それぞれの段落の役割を考えたり、表現の仕方に着目したりしながら読み取っている。	◎2つのことを対比させたり、写真と文章を対応させたりする工夫をしながら文章を構成している。	○文と文の意味のつながりに果たす役割を理解して、指示語や接続語を使っている。

4 学習指導計画（全14時間）

【主な段階】

第1次
単元の学習について、
課題意識と見通しをもつ。
(2時間)

第2次
写真と文章を対応させながら中心学習材を読み、説明の仕方の工夫について考える。
(6時間)

第3次
説明の仕方の工夫を生かし、写真と文章を対応させて、取材したことを説明する文章を書く。
(6時間)

【他教科活用場面】

○自分の課題について調べたことや考えたことを、写真を活用しながら発信する。(社会・総合)

【主な学習活動】

- ① 高学年に向けて楽しみなことを話し合い、委員会活動について知るための方法を考えて、学習計画を立てる。
- ② リーフレットで伝える相手と目的、取材の観点を考え、取材計画を立てる。

<評価>

- ① 課題意識や学習の見通しをもち、計画を立てている。 <発言・シート>
- ② 自分が伝えたいこと、読み手が知りたいと思うことは何か考えている。 <発言・シート>

- ③ アップとルーズとは何かを読み取り、第3段落と第1・2段落の関係を捉える。
- ④ アップとルーズの違いを読み取り、第4～6段落の関係を捉える。
- ⑤ 第7・8段落を読み、その役割について考える。
- ⑥ それぞれの段落の役割を確認しながら読み、文章全体の構成をつかむ。
- ⑦ 中心学習材の説明の仕方の工夫をまとめる。
- ⑧ 「アップ」と「ルーズ」が使われている例を見付け、説明する上でのよさについて考える。

<評価>

- ③ アップとルーズの特徴について読み取っている。 <発言・シート>
- ④ アップとルーズの伝えられることと伝えられないことを対比して読み取っている。 <発言・シート>
- ⑤ 段落相互の関係と、文章全体の構成をつかんでいる。 <発言・シート>
- ⑥ 対比的な段落構成に気付いている。 <発言・シート>
- ⑦ 対比的な段落構成や写真と文章を対応させた説明の仕方に気付いている。 <発言・シート>
- ⑧ アップとルーズの使われている例を見付け、意図やよさについて考えている。 <話し合い・シート>

- ⑨ 構成要素について考え、取材メモを整理して選材する。
- ⑩ 説明の工夫の仕方を生かしながら、リーフレットの構成を考える。 (本時)
- ⑪⑫ 組立て表を基に、リーフレットの下書きをする。
- ⑬ 下書きを推敲し、清書してリーフレットを仕上げる。
- ⑭ リーフレットを読み合い、単元の学習を振り返る。

<評価>

- ⑨ モデルのリーフレットを見て、構成要素について考えている。 <シート>
- ⑩ 学習材やモデル文を基に構成を考えている。 <シート>
- ⑪⑫ 写真と文章を対応させ文章を書いている。 <シート>
- ⑬ 推敲し、下書きを基に清書している。 <シート>
- ⑭ 友達のリーフレットを読んでよさを伝え合い、身に付いた力を実感している。 <シート>

【主な手立て】

読み手が知りたいと思うことを具体的に考えて取材の観点とし、リーフレットを作って友達に伝えたいという意欲の醸成を図る。

写真と文章を対応させて読んだり、段落の役割を考えたりすることで、説明の仕方の工夫を読み取る。

中心学習材で学んだ対比的な段落構成や写真と文章を対応させた説明の仕方の工夫を基に、リーフレットの構成を考える。

モデル文や語彙カードを参考にし、書き始めの言葉や文末表現、補足説明の工夫を文章を書くことができるようにする。

取
材
活
動

5 本時の指導（10／14）

（1）ねらい

書きたいことを明確にし、写真と文章を対応させたり2つの事柄を対比させたりする工夫をしながら、リーフレットの構成を考えることができる。

（2）展開

学習活動	思考を促す発問や指示（◎）と反応例（・） 学習内容	指導の手立て（○）と評価
1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分が伝えたいことを明らかにし、説明の仕方の工夫を生かして、リーフレットの組立てを考えよう。 </div>		○相手に役立つリーフレットにするために、相手にとって必要な情報を選び、事柄に合わせて分かりやすい順序で伝えていくことの必要性に気付かせる。
3 リーフレット全体の段落構成を考える。 （1）段落構成について考える。 ※グループ （2）交流 4 伝えたいことに合う写真を選ぶ。 5 段落内の構成を考える。 （1）付箋を使って段落内の構成を考える。 ※個人 （2）交流	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【組立てのたいせつ】 ・始め・中・終わり ・「中」には、特に詳しく伝えたいこと、説明したいこと ・事柄を対比させて説明する組立て ・伝えたいことを写真と対応させて説明する工夫 </div> ◎自分が伝えたいことを分かりやすく伝えるためには、「始め」「中」「終わり」のそれぞれの部分に、どんなことをどんな順序で書くとよいでしょうか。 ・「中」には、委員会の仕事の楽しいことと大変なことを書けばいいと思う。対比になっていて、分かりやすいから。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【交流の観点】 ・「中」の部分が対比になっているか。 ・伝えたい事柄に合わせて分かりやすい文章全体の構成を考えているか。 </div> ◎伝えたいことに合わせて写真を選びましょう。 ・伝えたいことは、図書委員会の楽しい仕事の、本の貸し出し手続きだから、この写真にしよう。 ◎分かりやすく伝えるためにどんな順序がよいか考え、付箋を使って段落の中の組立てを考えましょう。 ・まず、日常活動が主な仕事だから最初に書いて、その次に年に1回の活動について書くことにしよう。	○中心学習材で学んだ説明の工夫の仕方を確認し、それが、リーフレットの構成を考えるときに大切であることに気付くことができるようにする。 ○「中」の部分の構成は、どの事柄を対比と捉えるかによって多少の違いが考えられるが、対比の根拠を自分たちなりに明らかにして話し合い、交流の段階で確認、必要であれば修正できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <評価> ・書きたいことを明確にし、写真と文章を対応させたり伝えたい事柄を対比させたりしながら、リーフレットの構成を考えている。 《シート》 </div> ○自分が伝えたいことをもう一度確認し、モデル文を参考に文章構成を考え、伝えたいことに必要な付箋を選ぶことで構成を考えられるようにする。
6 本時の学習を振り返る。 （1）自己評価をする。 （2）振り返りを交流する。 7 次時の学習内容を確認する。	・「中」の部分に対比する内容を組立てることができた。 ・伝えたいことに合う写真を選び、写真に合う付箋を選ぶことができた。	○伝えたいことを明らかにして、対比型などの工夫を生かし、文章の構成を考えられたか、伝えたいことが写真や付箋と合っているかを観点として評価できるようにする。